



1 本校紹介記事で記事トレ

8月26日(土)のオープンキャンパスで実施されたAIに関する体験授業が茨城新聞(8月27日)に掲載されました。今、注目されている生成AIを体験し、生成AIの概要、利便性、危険性を知り、これからの生成AIとの付き合い方を考える授業でした。

本校での体験授業は高校生にとって貴重な機会となったようです。

<記事> 茨城新聞(2023年8月27日)
生成AI活用し授業



AIの体験授業の様子

◇要約 ●岩見恭牙さん(鹿島高卒) 県立IT短大は26日にオープンキャンパスを開いた。生徒やその保護者ら約170人が参加した。「生成AIとは何か」と題した授業が行われた。生成AIのメリットやデメリットに加え生成AIとの付き合い方について話し合った。

◇感想 ●佐藤勝輝さん(日立商高卒) オープンキャンパスで、生徒や保護者ら約170人も参加していて驚いた。それほどIT短大が注目されているのだと感じました。IT短大の学生だと自覚を持って、勉学に励んでいきたい。

●坂井恭吾さん(水戸桜ノ牧高卒) 近年加速しているデジタル化を支えるデジタル人材はとても大切だ。また、AIに関しても注目を集めている。それらを知ることができる今回のオープンキャンパスは、とても価値のあるイベントだと思った。

●藤巻日々花さん(佐和高卒) 私はあまり生成AIを使ったことがありません。近年はデジタル人材が不足している状況もあり、身近に情報技術が感じられると思った。また、デメリットもあるので考えて使っていきたい。

●一戸虹都美さん(水戸三高卒) 生成AIについてグループで話し合うことは、情報技術に興味を持ってもらうには、うってつけのテーマだと思った。私もオープンキャンパスが面白かったのがきっかけで入学したので、惹きつけるような授業を続けて欲しい。



2 記事トレボード展示

茨城県新聞教育研究会主催のNIEセミナーが8月25日(金)に開催され、県教育研修センター指導主事やNIE実践指定校の教職員ら約50名が集まりました。

セミナーでは、県立高萩清松高等学校の揚石俊志教諭から、総合学科における2年間のNIE実践報告がありました。この中で、多感な高校生に新聞の魅力を伝える様々な工夫が大切と話されていました。

揚石教諭は、会場に展示された「記事トレボード」(本校製作)について「NIE全国大会松山大会の様子や、全国のNIE実践者の熱いメッセージが良く分かるレイアウトで工夫されている」と話されていました。このボードは愛媛新聞記事を切り抜き、レイアウトされたものです。



「記事トレボード」に見入る先生方

3 記事トレ!

本校では、IT専門力に加え、社会人基礎力の向上のために、「記事トレ」を実施しています。新聞を読んで考える事で、読み解く力を育成します。

<記事> 茨城新聞(2023年7月28日)
自分の意見を簡潔に

◇要約

●小針向葵さん(日立商高卒)
夏休みは児童生徒にとって社会に目を向けるチャンスだ。自分の体験やテレビで知った出来事について、投稿文を書いてみてはどうだろうか。投稿文を作成することにより、よりよい社会の実現に向けた、主体性を育むことだろう。

◇感想

●金子翔悟さん(水戸工高卒)
この記事は、この記事トレと凄く似ていると思いました。小学生でもこの記事トレのような活動をすれば、将来、文章を書くときにその能力が生かせるようになると思いました。

●小針向葵さん(日立商高卒)
この記事トレのように限られた文字数で自分の考えを簡潔に述べる力は、面接などで必要になると思う。私もこの記事トレを通して出来事を多面的に捉え、根拠を明らかにし、主張できる人材になりたいと思った。

●鈴木真帆さん(土浦三高卒)
新聞の投稿は誰が読むかわからないから、きれいに書こうと思うし、考える力も付くのでいいと思いました。私もこの記事トレで読み書きの力を付けていこうと思います。

●根本晃希さん(常磐大高卒)
この情報化社会の中、限られた文字数で、社会の問題や自分の考えを簡潔に書くことは大変であり、難しいことと思う。相手に伝える文は、分かりやすく簡潔に書こうと思った。

●赤津拓実さん(水城高卒)
直接体験したことや新聞やテレビ等で知った出来事について考え、根拠を明らかにして自分なりの意見を持ち主張することは、大人になっても必要なことだと思う。

